

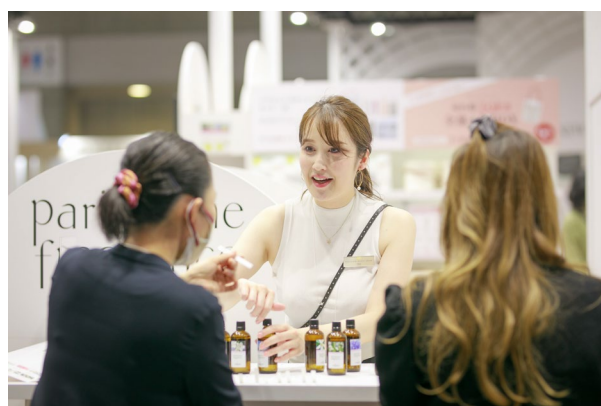
2023年5月19日

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

コロナ禍を乗り越え、7万以上が来場

25周年を迎えた「ビューティーワールド ジャパン 東京」が来場者数 71,448 名で閉幕

2023年5月15日(月)から3日間開催された「ビューティーワールド ジャパン 東京」(主催:メッセフランクフルト ジャパン株式会社、代表取締役社長:梶原靖志)と「東京ネイルフォーラム 2023」(主催:NPO 法人 日本ネイリスト協会)は、東京ビッグサイト東館全館に 71,448 名の来場者を迎え、大盛況のうちに閉幕しました。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う行動制限の解除を受けて海外企業の出展も回復し、韓国、台湾、中国の海外パビリオンのほか、イスラエル、イタリア、インドネシア、タイ、フランス、ポーランド、香港の 10 カ国・地域から 141 社が参加し、国内企業を含め過去最多の 831 社がビューティ業界関係者に向けて最新情報を発信しました。



■「ビューティーワールド ジャパン 東京」来場者数速報

日付	5/15(月)	5/16(火)	5/17(水)	合計
天気	曇り時々雨	晴れ	晴れ	
2023年	26,965名	26,507名	17,976名	71,448名
2022年	20,984名	21,482名	16,581名	59,047名

※速報値のため、最終的な数字は変更する場合があります

※来場者数に出展者、運営関係者、メディアは含まれておりません

※来場者数はマルチプルカウント方式です(同一来場者の3日間来場=3名としてカウント)

本見本市ではエステティック、ヘア、ネイル、美容、コスメに加え、最近注目のフェムケア・フェムテックを扱う「フェムモア」ゾーンと美容食品に関する「テイスティ」ゾーンを新設しました。継続出展で他のゾーンから「フェムモア」ゾーンに変更し、フェムテック商材を展示した株式会社ダイアナ ディレクターの関由香梨氏は、「他の見本市と比べて来場者の反応がよく、求めているターゲット層にアプローチできた。今まで接点のなかった新しい客層とも名刺交換をすることができ、次のビジネスに繋がりそうだ」と、出展の手ごたえを語りました。「テイスティ」ゾーンに初出展した株式会社ティートリコ 取締役の杉山敦紀氏は、「物販の売り上げが他の見本市

と比べて倍以上あった。エステ関係者との接点を求めて出展したので、予想通りの層にリーチができて満足している」と語りました。東京、大阪、福岡、名古屋すべての「ビューティーワールド ジャパン」に出展する株式会社ビー・エイチ 常務取締役の鈴木伸也氏は、「昨年と比べると来場者が多く、海外との商談もいくつかできた。新商品も2日目で売り切れ、来場者の購買意欲が戻ってきたと実感した」と話しました。

また、最新テーマやトレンドを取り上げるセミナーも併催し、多くの来場者を集めました。今年は「エステティックステージ」と「ヘア&ネイルステージ」に加え、業界でも注目を集めるフェムケアやフェムテックをテーマにした「フェムモアステージ」を新設しました。「フェムモアステージ」では9本のセミナーを開催し、企業と行政の立場からフェムテック市場を解説した宮路拓馬氏(衆議院議員)や南雲吉則氏(ナグモクリニック総院長)の講演では、熱心にメモを取る聴講者の姿で溢れました。理美容、ネイルサロン向けのセミナーを12本開催した「ヘア&ネイルステージ」には、おなじみの新井唯夫氏(FEERIE 代表)や高木琢也氏(OCEAN TOKYO 代表取締役)、RYUSEI 氏(PELE owner)などが登壇してトークショーや最新技術を披露し、立ち見も含む聴講者で賑わいました。「エステティックステージ」では14本のセミナーを開催し、森柗秀美氏(エステティックモリマサ学院長)、大山招子氏(エクシーズジャパン顧問)、宇治原一成氏(ビューティコンサルタント)、川上拓人氏(インターナショナルセラピー協会)など人気の講師陣によるセミナーに多くの聴講者が集まりました。また、森柗秀美氏とアメリカのバリカンメーカーWAHLのブランドアンバサダーを迎えた少人数制の有料「ゼミ」は、いずれも技術やノウハウを求める聴講者で満席となりました。

「ビューティーワールド ジャパン」では、来場者を対象にした美容機器の正しい知識の啓発活動に継続的に取り組んでいます。今回、経済産業省と消費者庁の関係者を招いたHIFU(ハイフ)機器規制の最新情報を伝えるセミナーを開催し、多くのサロンオーナーなどが聴講しました。また、一般社団法人日本エステティック工業会と株式会社リツビによる「美容機器の基礎知識セミナー」を2本開催しました。美容機器購入に関する相談コーナーも設置し、機器購入に対する疑問や問合せなどに対応しました。

次回の「ビューティーワールド ジャパン 東京」は、2024年5月13日(月)ー15日(水)、東京ビッグサイト東館全館にて開催します。「ビューティーワールド ジャパン」の最新情報は以下にてご確認ください。

公式ウェブサイト: www.beautyworldjapan.com

公式インスタグラム: www.instagram.com/beautyworldjapanofficial/

公式フェイスブック: www.facebook.com/BeautyworldJapan1/

■姉妹見本市の次回開催

「ビューティーワールド ジャパン 名古屋」

2023年7月24日(月)ー26日(水) ポートメッセなごや 第1展示館

「ビューティーワールド ジャパン 大阪」

2023年10月16日(月)ー18日(水) インテックス大阪 1ー6号館

「ビューティーワールド ジャパン 福岡」

2024年2月5日(月)ー7日(水) マリンメッセ福岡 A館

出展に関するお問合せ先

ビューティーワールド ジャパン事務局

メッセフランクフルト ジャパン株式会社

Tel 03-3262-8939 / info@beautyworldjapan.com

報道関係者からのお問合せ先

プレス担当: 小田島 / 加来

Tel 03-3262-8453

press@japan.messefrankfurt.com

www.jp.messefrankfurt.com

メッセフランクフルトについて

メッセフランクフルトは、800年以上にわたり見本市会場として親しまれるドイツ・フランクフルト市に本社を構える世界最大級の国際見本市主催会社です。約40万平方メートルの見本市会場を所有し、同社株の60%をフランクフルト市、40%をヘッセン州が保有しています。グループ全体では世界中に28の拠点と約2,200人の従業員を有しており、世界各地の約180カ国をカバーするグローバルネットワークは、メッセフランクフルトの強みの1つです。2022年のグループの売上高は4億5,000万ユーロで、顧客のビジネス拡大に貢献しました。また、「サステナブル経営」を企業戦略の中核に置き、環境保全、経済活動、多様性と社会的責任などの観点において持続可能な状態を実現する経営を実践しています。見本市主催事業以外にも会場の貸出、施工、マーケティング、スタッフサービスやケータリングなど、オフラインとオンラインを合わせた包括的かつ幅広いサービスを提供し、顧客のニーズに合わせてビジネスをサポートしています。詳細は公式ウェブサイトをご覧ください。www.messefrankfurt.com

*2022年暫定数値